

エコアクション21ガイドライン改訂検討に関する作業部会（第5回）

議事要旨（案）

日時： 平成28年12月7日（木）9:00～12:00

場所： TKP ガーデンシティ新橋 カンファレンスルーム3C

出席者（敬称略）：

・委員

八木裕之（座長）、倉阪秀史、竹ヶ原啓介、古田清人、森下研

・オブザーバー

一般財団法人持続性推進機構 小池秀子

・環境省

総合環境政策局環境経済課 奥山祐矢、齋藤英亜

・事務局

プロファームジャパン株式会社 立川博巳、渡辺有子、関谷翔、関口久美子

※会議は非公開で行われた。

議題：

1. 第4回作業部会における議論の主要ポイント

○事務局から第4回作業部会における議論の主要ポイントについての説明がなされた。

2. ISO（国際標準化機構）/TC207 総会における主要各国の動向調査について

○事務局からISO（国際標準化機構）/TC207 総会における主要各国の動向調査についての説明がなされた。

3. 2017年版エコアクション21ガイドラインについて

○事務局から2017年版エコアクション21ガイドラインについての説明がなされた。

○各委員から文言修正に関する指摘及び提案がなされた。

○「3. エコアクション21の理念」に関しては、今後加筆することとされた。

○カタカナの用語については、「コンプライアンス（法令遵守）」のように、括弧で併記するなどの工夫を考えることとされた。

- エコアクション21のロゴマークをガイドラインに掲載することとされた。
- 環境経営レポートの目的に、透明性に関する記述を加えることとされた。
- 経営上の課題とチャンスと事業と環境との関わりについての位置づけを再整理することとされた。
- 「遵守」と「順守」に関して、「遵守」で統一することとされた。
- 環境経営目標の項目に関して、化学物質も管理ではなく削減とすることとされた。詳細については、中央事務局の参考文書で対応することとされた。
- 「代表者による全体の評価と見直し・指示」に関して、「環境経営の改善」の項目は削除し、各項目の「～の変更」は「～の見直し」に改め、「環境経営計画の見直し」「課題とチャンスの見直し」を追加することとされた。
- 新第3章の2.1及び2.2に関して、事業者目線のガイドラインという観点から再構成することとされた。
- 新第6章の信頼性の定義に、「環境に関する専門性を有し」を追記することとされた。
- 取組のチェック表に関して、その使い方を含めて再度検討することとされた。

4. 環境経営レポート作成・活用マニュアル（仮称）について

- 事務局から環境経営レポート作成・活用マニュアル（仮称）についての説明がなされた。

5. その他

- 次回の作業部会の日程が調整された。

以上